



まだ誰も知らない安心を、ともに。

火災保険の事故データと SNS ビッグデータの分析で、 地域の自然災害リスクを調査する実証実験を開始

2022年6月17日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、当社が保有する火災保険の事故データと株式会社JX通信社（代表取締役社長：米重 克洋、以下 JX通信社）が収集・分析したSNSビッグデータを掛け合わせ、地域の自然災害リスクを調査するため、6月より実証実験を開始します。

1. 背景

近年、自然災害が多発・激甚化する中、当社は「CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）^{※1}を通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指し、他業態の企業等との協業・共創や社内外のデータ・デジタル技術活用を強化し、社会・地域課題解決に資する商品・サービスの開発や検討を進めています。また、当社とJX通信社は2021年に資本業務提携を締結^{※2}し、自然災害が発生した際、SNSなどのビッグデータを活用した新たなサービスの開発等に向けた共創取り組みを行っています。

今般、これらの取り組みの一環として、当社とJX通信社は、火災保険の事故データとSNSデータを掛け合わせた地域の自然災害リスクの実態を把握するため、実証実験を行うこととしました。

※1 CSV・・・Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

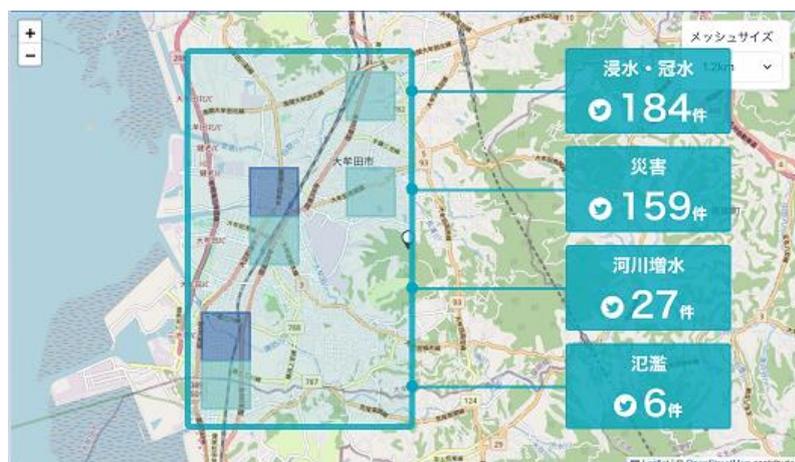
DX・・・Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

※2 https://aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2021/news_2021081700891.pdf

2. 実証実験の概要

当社とJX通信社は、これまで蓄積してきた火災保険の事故データとTwitter等のSNSビッグデータを分析し、自然災害による火災保険の請求件数が多いエリアや当該エリアにて投稿されたSNS投稿件数などの情報を地図上に可視化し、データに基づいた地域のリスク実態の把握を目指します。実証実験によって得られた各地の自然災害リスク情報を活用し、地域の防災・減災に寄与する情報提供を共同で検討していきます。

(1) 分析イメージ



(2) 今後活用を検討するデータ (例)

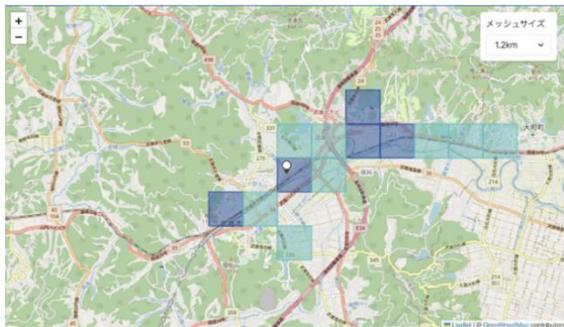
当社 (火災保険の事故データ※3)	JX 通信社 (SNS データ)
<ul style="list-style-type: none"> ・事故種別 (風災、水災、地震 等) ・物件所在地域 ・保険金請求件数 ・支払保険金額 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS 投稿件数 ・投稿時間の分布 ・SNS に投稿された画像等から把握できる被害実態

※3 データはプライバシー保護のため、統計化した上で個人が特定・識別できないように適切に加工

(3) データの有用性検証について

当社とJX通信社は、火災保険の事故データ (下記参照) 及びSNSデータのリスク実態把握に関する有用性を確認するため、2018年から2021年にかけて発生した九州地方の洪水被害情報と、JX通信社が収集・分析した同期間・地域のSNSデータを地図上に可視化しました。その結果、当社の事故受付件数が多いエリアについてTwitter Japan 株式会社から提供されるTwitterデータから被害実態の把握に必要な情報を得られることが検証されています。事故データ及びSNSデータは、プライバシー保護の観点から、統計化した上で個人が特定・識別できないように適切に加工し、第一弾として九州朝日放送株式会社に提供しています。

～九州朝日放送株式会社に提供した地図データ～



3. 今後の展開

当社とJX通信社は、自然災害リスクの実態把握を進めるため、火災保険の事故データ及びSNSデータを活用した実証実験を各地域で行っていきます。また、実証実験の結果を踏まえ、地域の防災・減災を目指す企業へのデータ提供・販売や自治体の防災計画等への反映を目指します。引き続きデータ利活用の高度化をより一層進めるとともに、地方自治体や提携企業と共にデータ資源を活かした事業の創出や社会課題の解決に取り組んでいきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



当社は、「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会・地域課題の解決に資する商品・サービスをご提供しております。この考え方・コンセプトを「CSV×DX」(シーエスブイ パイ ディーエックス) というキーワードのもと展開し、幅広い商品・サービスで実現していきます。

